

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に係る面談」
2. 日時：令和2年9月10日(木) 15時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(一部TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、猪俣上席安全審査官、中川
上席安全審査官、上出安全審査官、大岡安全審査専門職

日本原燃(株)

大久保 理事 再処理事業部副事業部長 他13名

東京電力(株) サイクル技術グループマネージャー 他1名

中部電力(株) サイクル戦略グループ課長

関西電力(株) 原燃計画グループマネージャー

四国電力(株) サイクル技術グループ担当

5. 要旨

- (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から、新規制基準に係る再処理施設の今後の設計及び工事の計画の認可申請(以下「設工認申請」という。)に関し、令和2年8月31日の審査会合(※1)の議論を踏まえて、当日提出資料に基づき説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点を伝えた。
 - ・ 当日提出資料で示された設工認申請に係る体制が令和2年8月31日の審査会合で示された体制と異なっている。体制は変わりがないとのことであるため、同審査会合で示した体制図をもとに、作業プロセスにおける各職務の責任と権限との関係性を明確にし、令和2年9月14日に開催予定の審査会合(※2)で説明すること。
- (3) 日本原燃から、本日の面談を踏まえて対応する旨の発言があった。

6. その他

提出資料

「資料1 再処理施設の設工認申請等の対応状況について」

「資料2 申請対象設備リスト（例：ポンプ）」

※1 令和2年8月31日の審査会合

「第368回核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合」

※2 令和2年9月14日の審査会合

「第372回核燃料施設等の新規規制基準適合性に係る審査会合」